

世界農業遺産

認定

有田・下津地域の



石積み階段園

みかんシステム



令和8年

日時

3月25日

水曜日

午後2時  
午後4時

認定記念シンポジウム

会場



有田市民会館

〒649-0304 有田市箕島46

先着順・参加費無料

シンポジウムへの参加は URL  
テレビ和歌山HP <https://mikansys.telewaka.tv/>  
トップページ下のバナーよりお申し込みできます。



お問合せ  
テレビ和歌山  
☎073-455-5721  
平日 10:00~17:00 (土・日・祝を除く)

主催

有田・下津地域  
世界農業遺産推進協議会

世界農業遺産 認定

# 有田・下津地域の石積み階段園 みかんシステム

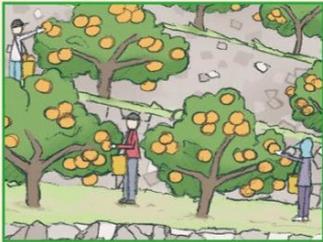
有田・下津地域は、400年以上前から農家の手により壮大な石積み階段園を築き、維持してきました。江戸時代には日本で初めてのみかん共同出荷組織「蜜相方」が結成されました。自然条件を巧みに活かして様々な品種のみかんを導入、貯蔵技術も駆使することで、8か月もの長期にわたる安定出荷を実現した、世界的に重要な農業システムです。



詳しくは  
有田・下津地域の石積み階段園  
みかんシステム ホームページで。  
<https://giahs-arida-shimotsu.jp>

## 有田・下津地域の石積み階段園みかんシステムの特徴

石積み階段園



江戸時代から、山を開墾して石積み階段園を築き、高品質のみかんを生産しています。こういった世界的にも珍しい土地利用により、独自の景観が形成されました。

みかんの貯蔵庫



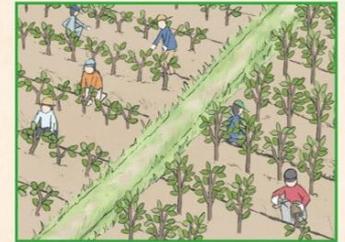
下津地域では、収穫後のみかんを木造・土壁の貯蔵庫で貯蔵し、糖分と酸味のバランスを整え、自然の力で甘みを増した「蔵出しみかん」が1月から4月にかけて出荷されます。

伝統的な神事



有田・下津地域には、みかんにまつわる深い伝統文化が根付いています。みかんの神に豊作を祈願する神事が催され、江戸時代に嵐の中、海に船出して江戸にみかんを運んだ豪商「紀伊国屋文左衛門」にちなんだ祭りが、毎年開催されています。

苗木の供給



この地域では、一部のみかん農家が苗木生産を担っています。地元の苗木生産者は品種の特性を維持するため、品種の原木により近い樹から接ぎ木用の枝をとり、苗木を生産しています。こうして品種の遺伝的特性が保たれ、果実品質の維持に貢献しています。

応募方法①

FAX ▶ FAX.073-452-7380

必要事項をご記入いただき、この用紙ごと、FAXしてください。

一度の申し込みで2名まで観覧できます  
先着順・参加費無料

代表者氏名① フリガナ -----	年齢 ----- 歳	情報保障 手話 <input type="checkbox"/> 要	住所 (代表者のみ) 〒 -----
氏名② フリガナ -----	年齢 ----- 歳	情報保障 手話 <input type="checkbox"/> 要	電話番号 (代表者のみ・携帯可)
他、車椅子の利用など配慮が必要な方は記入してください			

応募方法②

PC・スマホ ▶



左の二次元コードを読み取るか、HPからお申込みください。

URL <https://mikansys.telewaka.tv/>

イベントへのお問合せ

テレビ和歌山 平日のみ 10:00~18:00

☎073-455-5721

注意事項

○参加確定後に主催者から催事や駐車場に関するはがきを発送しますので、お名前、ご住所に誤りのないようご記入をお願いいたします。  
○天候、その他の理由によりイベントが中止・延期になる可能性があります。その際は、当サイトにて告知いたします。